

- ・法人は、役員、政令で定める使用人について作成する。
- ・個人は、申請者、政令で定める使用人について作成する。
- ※ 身分(元)証明書及び登記されていないことの証明書を添付すること。(専任の宅地建物取引士を兼ねる場合も添付)
- ※ 職歴を1枚に記入しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載し、添付すること。
- ※ 専任の宅地建物取引士を兼ねる場合は、その旨職名に記入すること。

添 付 書 類 (3)

略 歴 書

(フリガナ) 氏 名	ミヤギ タロウ 宮城 太郎		
職 名	代表取締役(兼)専任取引士 (常勤)	登録番号	宮城県 第088888号 〔宅地建物取引士である者は記入する。〕
職 歴	期 間	従 事 し た 職 務 の 内 容	
	自 H18年 4月 1日 至 H20年 3月 31日	〇〇センター株式会社 営業ほか	
	自 H20年 4月 1日 至 H21年 4月 30日	求職中	
	自 H21年 5月 1日 至 H22年 4月 30日	株式会社△△建設 取締役	
	自 H21年 5月 1日 至 年 月 日	株式会社××サービス 取締役(非常勤) 現在に至る	
	自 R3年 4月 1日 至 年 月 日	宅建株式会社 (現: 建宅不動産株式会社) 代表取締役に就任 現在に至る	
	【「職名」欄について】 ・ 法人にあっては、登記簿上の役員名を記入するとともに、常勤、非常勤の別を()書きで併記すること。 ・ 個人にあっては、「代表」等と記入すること。 ・ (法人・個人共通) 政令使用人又は専任取引士である者は併記すること。 【「職歴」欄について】 ・ 学校卒業後の職歴として勤務先を記入すること。また、現在他社の役員である場合は、登記簿上の役員名を記入するとともに、常勤、非常勤の別を()書きで併記すること。 ※ 宅建業以外の職歴についても、詳細に記入すること。 ・ 1年以上の中断期間がある場合、その期間についても記入すること。(家事従事、アルバイト等)		

上記のとおり相違ありません。

令和7年 4月 1日

氏 名 宮城 太郎